

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールに添付の上、事務局( challenge@rt-tsukuba.jp )までお送り下さい。この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

## つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 7 回実験走行会 2014/ 11/ 10( 月 )

ロボット No.: 1423

ロボット名: Cartis

チーム名: 電気通信大学

記載責任者: 柴田 優弥

- 1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)
  - ・ 人発見をしながらの自律走行実験
  - ・ 低段差を認識するプログラムの挙動確認
- 2 実験の具体的内容と成果
  - 2.1 実験の具体的内容
    - ・ 人探索ありのロボットの自律走行
    - ・ 低段差を認識するプログラムの動作実験
  - 2.2 実験成果
    - ・ 全エリアを探索した中で探索人数は1人だった。
    - ・ 低段差を認識する障害物回避のプログラムは、正常に動作しなかった。
- 3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。
  - 3.1 自律走行の内容
    - 人探索をしながらの自律走行実験
  - 3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)
    - ・ 途中で障害物にぶつかり完走はできなかった。
    - ・ 人探索で人を発見した人数は1だった
  - 3.3 残された課題
    - ・ 低段差の検知
  - 3.4 失敗した理由
    - アルゴリズムに若干問題がある。
  - 3.5 確認走行を行った場合は、その記録
  
  - 3.6 記録走行を行った場合は、その記録
    - 第一探索エリアを抜けたあたりで、ロボットが動かなくなり中止となった。
4. 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。